

キャンパスの緑を巡る道

東京農工大学や明星学苑の緑とふれあうコース。
府中公園など、市内の公園もいくつか経由します。

農工大のケヤキ並木



農工大から明星学苑へ

東京農工大学を過ぎて学園通りのトチノキの並木道を進み、信号を過ぎると明星学苑内に名木百選に選ばれたホソイトスギが見えます。明星学苑脇を左折、東八道路を右折、新町第3公園、新町第2公園を経て新町文化センターへ。



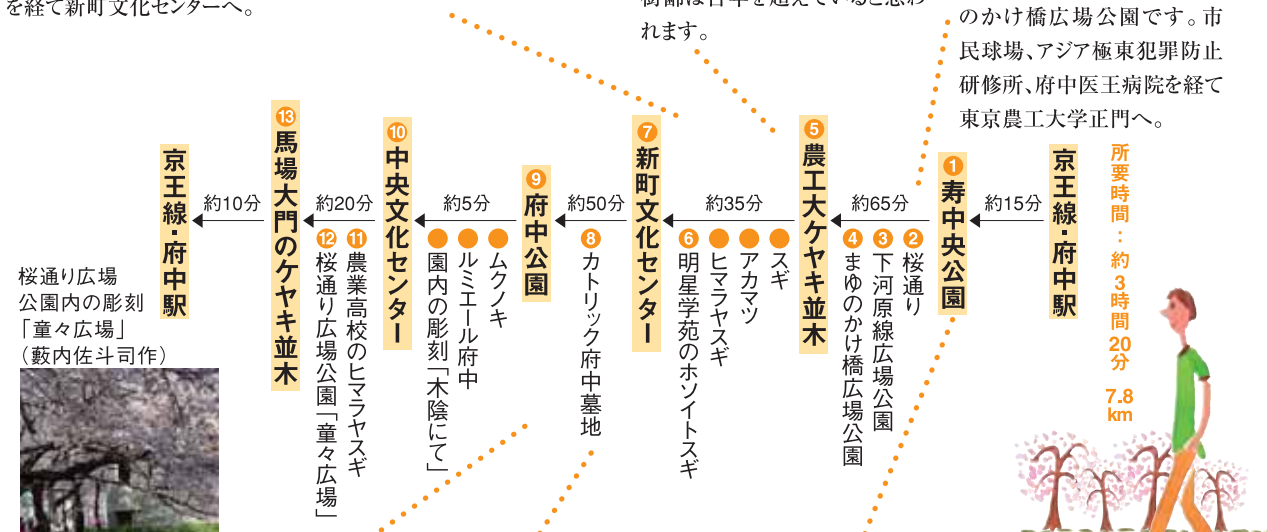
桜通り

桜まつりでにぎわう桜通り

農工大は緑のキャンパス

東京農工大学正門からのケヤキ並木は府中屈指。昭和10年以降に植栽され、樹齢は80年ほどといわれています。農学部本館(国登録有形文化財)の正面にはスギ。スギは本館竣工時には成木としてそこにあったもので、樹齢は百年を超えていると思われます。

桜通りのソメイヨシノの並木は府中街道から小金井街道まで約1kmに及び、桜まつりは大勢の市民でにぎわいます。桜通りから多摩川の砂利を運搬していた線路が残る下河原線広場公園へ。すずかけ公園に立ち寄るのもいいでしょう。JR武蔵野線を越えるとまゆのかけ橋広場公園です。市民球場、アジア極東犯罪防止研修所、府中医王病院を経て東京農工大学正門へ。



府中公園は市民の憩いの広場

東京農工大学南門を下り府中公園へ。芝生広場に親水空間や遊歩道があり、ムクノキは名木百選。野外ステージも備えています。国分寺街道に出ると都立農業高校があります。正門の名木百選のヒマラヤスギは威風堂々。桜通り広場公園「童々広場」の走る童子はユーモアたっぷり。「こぼすな様」がいます。馬場大門のケヤキ並木を通って府中駅へ。



こぼすな様

著名人も眠るカトリック墓地

新町文化センターからカトリック府中墓地へ。墓地には作家の遠藤周作や劇作家の田中澄江など著名人も眠っています。墓地の脇の道を下り、山谷道の道標と畑を見ながら府中公園へ。



大賀博士の大賀ハスの地

寿中央公園のひょうたん池は大賀ハス誕生の地。花びらはピンクで花心は黄色の美しい花です。大賀一郎博士が遺跡で発見した種を発芽させ、自宅近くの池に移植して、古代ハスを現代によみがえらせた。

大賀ハス ストーリー
大賀ハス誕生
大賀一郎博士が、昭和26年千葉県検見川の縄文遺跡で古代ハスの種を三粒発見しました。その内の一粒の発芽に成功。同じ地層から発見された丸木船が2千年前の物であることから、2千年前のハスと認定されました。府中市では郷土の森公園の修景池で見ることが出来ます。種の皮が大変厚くて硬いため、2千年も生き続けたのでしょうか。



大賀ハス